

症状観察用語集

..... (Terminology for cage-side observation in animals)

Code	全 身 的 症 状	解 説
K	皮膚 Skin	

K 01	発汗 多汗	Perspiration Sweating Hyperidrosis
		汗をかいている状態。 アポクリン汗腺からの分泌物が増し動物特有の体臭も発散する場合。神経の興奮をきたす疼痛性疾患、呼吸困難、心疾患等にみられる。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
K 02	乾燥	Dryness
		皮膚が乾いている状態。脱水などにより起こる。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
K 03	黄疸	Jaundice Icterus
		皮膚や眼粘膜が黄色に染まっている状態。溶血性、肝細胞性、肝内胆汁うっ滞性、閉塞性などの原因で、血中胆汁色素濃度の上昇により起こる。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
K 04	潮紅	Flush
		耳や尾を含む全身が赤くなる状態で、一過性の発赤である。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度
K 05	蒼白	Pale skin Paleness
		皮膚あるいは粘膜が白くなる状態で、血管収縮により起こる。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度
K 06	貧血様	Anemic
		赤味が消え、蒼白に見える状態。特に耳介および四肢で顕著である。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
K 07	チアノーゼ	Cyanosis
		皮膚（尾、足蹠）や粘膜（口）が紫色になった状態。動脈血酸素飽和度が低下した時に発現する還元ヘモグロビンの増加が原因で、毛細血管が静脈血で満たされ、濃青～銅紫色を呈する。特に、耳介、鼻、四肢末端など末梢部が著しく紫色になる主に心肺機能不全により起こる。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
K 08	発疹 皮疹	Eruption Exanthema
		皮膚または粘膜の急速に広がる皮膚病。特に、ある種の皮疹のように全身的疾患が局所症状として現われる時に使われる。 発疹には、以下のように丘疹、蕁麻疹、紅斑、紫斑、白斑（a～e）を含み、これらの識別が困難な時に発疹とする。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、形状、数、サイズ
K 09	a. 丘疹	Papule
		皮膚面から隆起した変化（数mmから1cm位）で、多くは皮膚の組織内の細胞浸潤により起こっている。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、形状、数、サイズ
K 10	b. 蕁麻疹	Urticaria
		限局性に真皮上層の浮腫が生じるため皮膚面が限局性、境界鮮明に扁平に隆起するもの。毛細血管の透過性の亢進によって、血漿成分が組織内に流入することによる。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、サイズ

Code	全 身 的 症 状	解 説
K 11	c. 紅斑 発赤 Erythema Reddening	皮膚表面の一部が赤味を帯びた状態。 真皮上層の血行障害により血管が炎症性に拡張することによって生じる。したがって、ガラス板で圧迫すると褪色する。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、数、サイズ
K 12	d. 紫斑 うっ血斑 鬱血斑 Purpura	皮膚表面の一部が紫色を帯びた状態。真皮または皮下組織内の出血によるもので圧診で消退しない。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、数、サイズ
K 13	e. 白斑 Leukoderma	皮膚色素の脱出(失)による白色斑状の変化。局所的脱色(Local depigmentation)。 サル 部位、数、サイズ
K 14	皮膚の褪色 皮膚の脱色 Discoloration of skin Depigmentation of skin	皮膚色素の脱出(失)により皮膚全体の色が薄くなった状態。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
K 15	腫脹 Swelling	身体の一部が腫れること。 これには充血(Hyperemia)、鬱血(Congestion)、浮(水)腫(Edema)、気腫(Emphysema)が含まれ、腫れ上がっており、水っぽい。腫れているが、硬結よりは軟らかい。その他のものも含むが判別できれば以下の項目(a~c)とする。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、サイズ
K 16	a. 充血 Hyperemia	ある局所の流血量が正常より増している状態。充血を起こした局所では鮮紅色を呈し、組織温が上がり、容積が増大し、拍動を呈する。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、サイズ
K 17	b. うっ血 鬱血 Congestion	局所の静脈および毛細管内の静脈血の増加した状態。 静脈の還流障害により局所のチアノーゼ、発赤、腫脹を生じる。原因が持続する場合にはその組織内に水腫、出血等の二次病変を起こすことがある。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、サイズ
K 18	c. 浮腫 Edema	局所的または全身的に皮下組織の組織間隙に組織液が増加貯留している状態。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、サイズ
K 19	腫瘤 結節 Mass Nodule	触ると塊状のものを感ずる。大きくなると肉眼的に異常な隆起として観察される。膿疱、水疱状の柔らかいもの、硬いものがある。徐々に肥大することが多い。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、形状、数、サイズ

Code	・ ・ 全 身 的 症 状 ・	解 説
------	-----------------	-----

創傷 外傷	Wound ----- Trauma	<p>皮膚や粘膜の損傷。 表面が外力によって傷ついた状態。切創、挫創、擦過創、咬創等がある。</p> <p>外傷はその数と出血度合いから3段階に分ける。軽度では傷は1~2カ所で出血も少ないか、殆どない。中等度では傷は数カ所に見られ、出血も認められる。高度では、全身傷だらけで多量の出血が見られる。動物を集団で長期飼育していると、雄の場合群内で争い、多くの外傷が見られる。軽度の外傷はその部位も記録するようにする。</p>
----------	-----------------------	--

K 20	a. 咬創 咬傷	Bite wound -----	<p>咬まれた傷で、軽度のものは単に歯痕を留め、皮下に溢血斑を残すに過ぎないが、時に体腔に達し、臓器の損傷、内出血を来すことがある。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、豚、牛 部位、程度、数、サイズ</p>
.....			
K 21	b. 挫創	Contused wound -----	<p>衝突、転倒、打撲など、鈍性外力による皮膚・粘膜の開放性損傷で、創縁や創面が複雑で組織の破壊、壊死、感染が著しい。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、豚、牛 部位、程度、数、サイズ</p>
.....			
K 22	c. 搔創	Scratched wound -----	<p>爪などによってひっかくことにより開放性損傷を生じたもので、皮膚または同時に他の組織と連絡を離断され、またこれらの組織の一部に欠損を生じたもの。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、豚、牛 部位、程度、数、サイズ</p>
.....			
K 23	d. 切創	Incised wound -----	<p>・ 鋭利なものが牽引性に作用して組織の離断を起 こしたもので創縁は鋭利に開き、創面は平滑で周囲組織の損傷が少なく、出血が多い。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、豚、牛 部位、程度、数、サイズ</p>
.....			
K 24	e. 裂創	Lacerated wound -----	<p>鈍体によって受傷した創傷のことで、局所は創口が開き、ずたずたで弁状創になり易い。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、豚、牛 部位、程度、数、サイズ</p>
.....			
K 25	f. 擦創	Excoriation -----	<p>外力が皮膚表面に平行の方向に近く作用した浅在性の創傷。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、豚、牛 部位、程度、数、サイズ</p>
.....			
K 26	出血	Hemorrhage ----- Bleeding	<p>血液が血管外に流出していることが明瞭な場合に用いる。不明な場合は赤色斑、赤色液、赤色固形物等の表現をする。</p> <p>血管の破綻及び血管壁の透過性亢進によって起こる。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、豚、牛 部位、程度、数、サイズ</p>
.....			
K 27	肉芽	Granulation -----	<p>微細で丸い肉質の結合組織突起が傷、潰瘍、炎症などの表面に治癒の過程で形成された組織。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、豚、牛 部位、程度、数、サイズ</p>
.....			

Code	全 身 的 症 状	解 説
K 28	硬結 硬化 Induration Hardening	触ると硬いしこりが分る。 組織またはその一部が、例えば充血、炎症などのために結合織の増殖をきたして硬くなることをいう。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、数、サイズ
K 29	膿瘍 化膿 Abscess Suppuration	腫れ上がっており、弾力があって、膿汁を明らかに認めるもの。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、数、サイズ
K 30	水泡 Bulla	表皮または表皮直下に漿液が限局性に貯留して隆起し、その内容が被膜を通して見える。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、数、サイズ
K 31	膿疱 Pustule Pustula	水泡の内、内容が混濁して黄色に見える場合。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、数、サイズ
K 32	びらん 糜爛 Erosion	皮膚あるいは粘膜が崩れたような状態。 水泡が破れて生じる、真皮、粘膜上皮の表層が限局して欠損したもので、治癒後癒痕を残さない。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、数、サイズ
K 33	潰瘍 Ulcer Ulceration	肉様の部分が見えている状態。 びらんより深く真皮以下に達する欠損で、出血し、しばしば膿苔で覆われる。潰瘍はやがて肉芽によって埋められ、周囲から表皮が延びてこれを覆い、癒痕を形成する。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、数、サイズ
K 34	痂皮形成 Crust formation Scabbing Scab-formation Escharosis	かさぶたができている状態。 創傷や潰瘍の治癒過程で創口に析出した白血球、線維素あるいは凝血、壊死組織片などが合体凝固して痂皮を形成する。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、数、サイズ
K 35	鱗屑 落屑 表皮剥離 Desquamation Exfoliation	表皮上層が角質片となって脱落するもの。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、数、サイズ
K 36	癒痕 傷跡 Scar	潰瘍等の組織欠損の治癒後の局面で多少隆起したり、陥没することがある。色素脱出(失)、または沈着を伴う。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、数、サイズ
K 37	線維症 胼胝 べんち Callosity Callus Tylosis Fibrosis	圧力または摩擦による圧迫刺激が長期にわたって反復して加わった時に生じる表皮角質層の限局性増殖・肥厚(タコ)。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、数、サイズ
K 38	亀裂 裂瘡 Fissure	皮膚が離開し、皮膚炎を起こしたもので浅いもの。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、数、サイズ
K 39	腐肉の形成 Sloughing Slough formation	皮膚の壊死部に脱落した組織(腐肉)を形成すことをいう(カサブタ)。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、数、サイズ

Code	・ ・ 全 身 的 症 状 ・	解 説
K 40	皮膚の着色化 Coloring of skin	----- 投与した被験物質が原因で皮膚が着色した状態。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 部位、程度、色、色調
K 41	乳腺の硬化 Induration of mammary gland Hardening of mammary gland	----- 卵胞ホルモンと黄体ホルモンの分泌が長期にわたって持続作用し乳腺が発達した状態。一般には妊娠期間の後期に認められる。分娩後は、哺乳のため硬化するが授乳が充分に行われない場合硬化状態は持続する。ホルモン剤の投与や下垂体腫瘍の場合にも認められることがある。 豚、サル 程度
K 42	雄乳腺の発達 Gynecomastia	----- 乳腺・乳頭が膨大し、弾力を有する状態。ホルモン剤、向精神薬などの投与により生じる。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
K 43	乳頭肥大 Hypertrophy of mamilla	----- 乳頭が変色・膨大して弾力を有し活気を呈する状態。通常妊娠の後期から認められるが、ホルモン剤の投与によっても認められることがある。 豚、サル 程度
K 44	性皮 Sexual skin	----- 月経周期の前半（排卵前）に、エストロジェンの作用により、会陰周囲、尾根部の皮膚が腫脹、紅潮を呈する。アカゲザル、ブタオザルあるいはヒヒ類で特徴的である。 サル 程度
K 45	尾の欠落 Loss of tail	----- 尾の一部または全部が取れること。外傷あるいは環境の温度・湿度異常による循環器障害が原因となる。 マウス、ラット、サル 程度